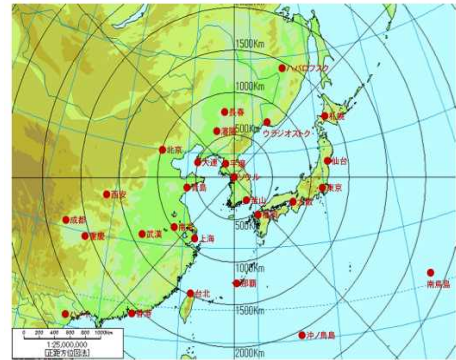


各地に残る日韓交流の歴史

2014年5月31日

武井 一



国土技術研究センターHPより

日韓は近い(1)



日韓は近い(2) 対馬



日韓は近い(3) 壱岐・名護屋

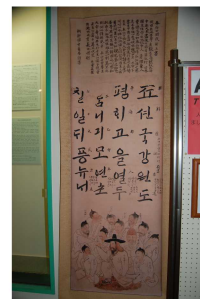


壱岐から対馬を見る



名護屋城から壱岐を見る

日韓は近い(4) (鳥取)



漂流民の残した掛け軸



近い日韓

- 古くから交流。島伝い。近い所は約60キロ。
- 交流といっても様々な形がある。**一時的に日本で生活**する人もいるし、生活する人もいるし、**定住する人も**いる。**物だけが伝わる**場合もある。反対に関係がうまく行かなければ**防衛**することもある。
- そのような遺跡は韓国にも残る。一方で、日本でも各地に見られる。
- 九州、関西、関東を中心にそのような痕跡を見て、現在の日韓交流のあり方を考えたい。

韓国に残る遺跡(1) 公州



丹芝里(タンジリ)古墳群:倭人の横穴墓群



吉見百穴

韓国に残る遺跡(2) 固城



固城、松鶴洞(ソンハクドン)1号墳。石室が北九州式

韓国に残る遺跡(3) 全羅南道



光州、月桂洞(ウオルゲドン)1号墳。前方後円墳



咸平(ハムピョン) 新徳(シントク)古墳

韓国にある倭系遺跡

- 倭国→**韓国の鉄を求める** 伽耶→百濟→(新羅)
- そのために
王との交流 勾玉など⇄七支刀(百濟から)
伽耶=倭系古墳(円墳だが北九州式)
百濟南部=前方後円墳
- 普通の人の行き来(交易他)
両方から共通の漁具
勒島(ノクト)から大量の弥生式土器

北九州(1) 前原



糸島支石墓から見た伽耶山

北九州(2) 博多



西新町遺跡(修猷館高校)

北九州(3) 宗像



宗像大社(仮本殿)

北九州(4) 朝倉



朝倉宮の近く

北九州(5) 八女



岩戸山古墳

北九州(6) 博多



元寇防塁

北九州(8) 名護屋



名護屋城

北九州(9) 唐津



金山海高德寺

九州

- 直接生活したり、商業のために来た韓国人も多い。
- 韓国にある日本系の古墳なども北九州系。
- 近いだけに韓国にあった国とどのように結びつか、豪族にとっても大問題だった。
- 韓国への出口であったため、宗像大社があった。
- 戦争の防禦のため、大宰府、朝倉宮、元寇の防塁が作られた。
- 漂流民も多く来た(対馬は直接返還、それ以外は長崎経由)
- 壬辰・丁酉倭乱(豊臣秀吉の朝鮮侵攻)のときの拠点となったし、近代においても様々な関係があった。

関西(1) 京都



広隆寺:秦氏の氏寺

関西(2) 祇園



八坂神社

関西(3) 枚方



伝王仁之墓

関西(4) 藤井寺・古市



辛国神社

関西(5) 飛鳥



於美阿志神社(檜隈寺跡)

関西(6) 大津



穴太遺跡(オンドル遺稿)

関西(7) 天王寺付近



百済貨物ターミナル駅



杭全神社

関西(8) 蒲生野



石塔寺



韓国扶余(ブヨ)長堀里(チャンハリ)廃寺三層石塔

関西(9) 枚方



百済王神社

関西(10) 栗東



狛坂磨崖仏



慶州(キョンジュ)南山七仏庵(チルプラム)四面、三体石仏

関西(11) 鶴橋



関西

- 直接来た人びともいた(おそらく日本海経由)
- 渡来人が多い。大きく3つの波に分けられる。
「古渡才伎(こわたりのてひと)」=秦氏
「今来才伎(いまきのてひと)」=東漢氏、西文氏
百済滅亡後に渡来=百済王氏
(それ以外の地域からも)
- 近世、通信使など
- 近年の様々な関係

関東(1) 吉井



辛科神社

(番外1) 信濃



須坂鮎川古墳群



中国遼寧省桓仁上古城子古墳群(高句麗初期の古墳)

(番外2) 信濃、甲斐



長野市大室古墳群



横根・桜井積石塚古墳群

関東(2) 高麗川



高麗王墓

関東(3) 浅草



浅草神社

関東(4) 鎌倉



元使塚



和賀江島

関東(5) 通信使



品川 東海寺



浅草 東本願寺

関東(7) 房総



館山 大蔵寺四面石塔



富津 竹岡 松翁院四面石塔

(番外) 小谷、豊科



小谷 融通念仏供養碑



豊科 神代文字

関東(6)留学生



そして今(1)



町屋

そして今(2)



新大久保

赤坂

関東

- 信濃は高句麗の影響が強い。
- 関東北部は中山道経由の渡来物、遺跡がある。
- 関東南部は直接のものは見付けにくい。一方、大和朝廷によって再配置された渡来人が多い。
- 鎌倉時代、江戸時代は政治の中心地としての関係
- 近代は首都として様々な関係があった。

◎東京は韓国から最も遠い地域の一つ。

まとめ

- 古くから様々な関係を持つ。
- 地域によって、関係の持ち方は多様。
- 韓国にも日本と関係した物や伝説は多い。
- 互いのことを「理解」することが大切。
エスノセントリズム ↔ 文化相対主義
- 日韓はよく似ているが異なる部分がある。基層文化に微妙な差があるため、発想の違いなどに繋がる。そうであることを「理解」し、「前提」とすることが大切。